

2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月14日

上場会社名	タケダ機械株式会社	上場取引所	東
コード番号	6150	URL	https://www.takeda-mc.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	竹田 雄一
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部長	(氏名)	鈴木 修平
四半期報告書提出予定日	2022年10月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	1,008	47.0	28	—	44	—	23	—
2022年5月期第1四半期	685	36.3	△55	—	△42	—	△33	—

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 30百万円 (—%) 2022年5月期第1四半期 △33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	25.57	—
2022年5月期第1四半期	△36.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	6,531	4,303	65.9
2022年5月期	6,739	4,318	64.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 4,303百万円 2022年5月期 4,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,350	12.8	110	△8.1	110	△23.1	100	10.1	108.74
通期	4,800	8.0	330	△11.6	330	△19.3	245	△6.1	266.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期1Q	1,020,000株	2022年5月期	1,020,000株
2023年5月期1Q	100,393株	2022年5月期	100,393株
2023年5月期1Q	919,607株	2022年5月期1Q	919,674株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の収縮から再開に向けて段階的な回復基調で推移しているものの、ウクライナ問題の地政学的リスクの影響、半導体部品の不足による生産活動の停滞、多岐にわたる急速な物価の上昇、外国為替相場の円安進行など、景気に対する様々な悪影響が顕在化しており、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に取り組んでおりますが、鋼材価格の高騰による収益の縮小や製造部品の不足から製造納期の長期化が拡大するなど、予断を許さない事業環境が継続しております。これらに対して収益を改善しようと、製造部品の先行手配や内製化、在庫の適正化、販売価格の見直しなどを展開しておりますが、回復までに一定の時間を要しております。

このほか、当社は太陽光発電設備の導入を決定し、社会が求める自然環境への対応と企業活動の共存を図り、持続可能な成長を可能とする企業活動にも取り組んでおります。当該設備は、2022年11月の稼働予定であります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,008百万円(前年同期比47.0%増)、営業利益は28百万円(前年同期は営業損失55百万円)、経常利益は44百万円(前年同期は経常損失42百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は722百万円(前年同期比81.1%増)、丸鋸切断機は1百万円(前年同期比93.2%減)、金型は75百万円(前年同期比19.2%減)、受託事業・その他は67百万円(前年同期比78.1%増)、部品は116百万円(前年同期比5.4%増)、サービスは24百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

なお、当社グループの事業は金属加工機械事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少しております。

これは、主に棚卸資産が189百万円、現金及び預金が66百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が437百万円、繰延税金資産が20百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は2,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円減少しております。

これは、主に支払手形及び買掛金が72百万円増加したこと、未払法人税等が142百万円、賞与引当金が58百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が54百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少しております。

これは、その他有価証券評価差額金が7百万円増加したこと、利益剰余金が22百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想は、2022年7月14日付「2022年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,692	1,402,048
受取手形及び売掛金	1,075,910	638,029
製品	1,012,041	1,109,020
仕掛品	421,557	484,187
原材料	418,347	447,752
その他	16,408	12,891
流動資産合計	4,279,958	4,093,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	528,367	523,142
土地	967,629	967,629
その他(純額)	468,517	459,684
有形固定資産合計	1,964,514	1,950,457
無形固定資産	107,649	90,921
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,580	51,956
その他	317,773	347,529
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	387,214	396,345
固定資産合計	2,459,377	2,437,724
資産合計	6,739,336	6,531,654
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381,714	454,494
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	398,688	380,142
未払法人税等	150,108	7,157
賞与引当金	119,514	61,374
役員賞与引当金	21,400	3,500
製品保証引当金	12,280	14,588
株主優待引当金	—	6,331
その他	285,635	286,523
流動負債合計	1,769,341	1,614,111
固定負債		
長期借入金	346,335	310,414
役員退職慰労引当金	74,383	76,895
その他	230,754	226,770
固定負債合計	651,472	614,080
負債合計	2,420,813	2,228,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	44,103	44,103
利益剰余金	2,570,095	2,547,633
自己株式	△169,024	△169,024
株主資本合計	4,319,257	4,296,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	6,666
その他の包括利益累計額合計	△734	6,666
純資産合計	4,318,523	4,303,462
負債純資産合計	6,739,336	6,531,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)
売上高	685,737	1,008,323
売上原価	532,589	717,704
売上総利益	153,148	290,618
販売費及び一般管理費	208,309	262,221
営業利益又は営業損失(△)	△55,161	28,397
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	1,605	1,750
仕入割引	3,258	4,949
保険変更益	—	6,000
その他	11,985	7,054
営業外収益合計	16,862	19,761
営業外費用		
支払利息	3,526	2,851
その他	405	920
営業外費用合計	3,932	3,772
経常利益又は経常損失(△)	△42,231	44,385
特別利益		
固定資産売却益	—	199
特別利益合計	—	199
特別損失		
固定資産除却損	424	738
特別損失合計	424	738
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,655	43,846
法人税、住民税及び事業税	5,959	2,639
法人税等調整額	△15,253	17,689
法人税等合計	△9,294	20,328
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,361	23,518
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,361	23,518

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,361	23,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	7,401
その他の包括利益合計	59	7,401
四半期包括利益	△33,302	30,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,302	30,919

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した注記事項「(重要な会計上の見積り)、繰延税金資産の回収可能性」中の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りの内容について、重要な変更はありません。